

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.26)No.	1115	(H.25)No.	1115
-----------	------	-----------	------

事務事業名	観光振興対策費		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	観光交流室	松本 孝寿	

会計区分	事業コード	363501
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 商工費	観光振興対策費	
項 商工費	(小事業名)	
目 観光費	観光振興対策費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	5	都市産業の振興
	施策	2	観光
	小施策	2	集客交流機能の向上
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
観光資源活性化と観光産業振興のため、効率的な各種事業の実施、名張市の知名度向上や入込客数増大を目指す。情報発信を積極的に行い、語り部等観光を支える人づくりを進め、集客交流機能を向上させる。また、観光拠点整備とともに、各種団体との連携・交流を深め、魅力ある観光地づくりを目指す。
事業内容
観光振興のため、観光資源の活用と観光施設の整備を図る。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.25年度(事業量・取組実績)	H.26年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> 観光パンフレット(10,000部)・マップ(16,000部)印刷 名張市観光協会への委託(観光案内スタッフ配置2名、観光商品開発年間10種類、地域イベント年間4回、メディア関係者への広域連携観光情報発信年間3回、名張駅前公衆便所管理ほか) 名張川納涼花火大会警備業務委託 青蓮寺川香落溪観光客誘致促進事業委託 観光関係団体負担金等 	<ul style="list-style-type: none"> 観光パンフレット(20,000部)・マップ(20,000部)印刷 名張市観光協会への委託(観光案内スタッフ配置2名、地域イベント年間4回、ボランティアガイド企画年間6回、メディア関係者への広域連携観光情報発信年間3回、名張駅前公衆便所管理ほか) 青蓮寺川香落溪観光客誘致促進事業委託 観光関係団体負担金等

H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)
<ul style="list-style-type: none"> 観光パンフレット・マップ印刷 観光振興対策事業関係委託(観光協会等) 観光関係団体負担金等 	<ul style="list-style-type: none"> 観光パンフレット・マップ印刷 観光振興対策事業関係委託(観光協会等) 観光関係団体負担金等 	<ul style="list-style-type: none"> 観光パンフレット・マップ印刷 観光振興対策事業関係委託(観光協会等) 観光関係団体負担金等

	H.25年度(決算見込)	H.26年度(作成時予算額)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)
①直接事業費	8,676千円	11,294千円	9,294千円	9,294千円	9,294千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 8,676	11,294	9,294	9,294	9,294
人工数					
職員	0.45人	0.45人	0.45人	0.45人	0.45人
臨時職員等					
②概算人件費	(0千円) 3,420千円	3,420千円	3,420千円	3,420千円	3,420千円
①+②総事業費	(0千円) 12,096千円	14,714千円	12,714千円	12,714千円	12,714千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.25年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
名張市観光協会を始め、各種団体と連携を深め、情報発信の強化・ホスピタリティの向上に努めた結果、市の知名度向上と集客の促進に一定の効果を得た。予算の縮減もあり、情報発信等の量的充実が難しいため、質を充実させていく必要がある。	委託内容の精査、効率化を進める。 観光客誘客に効果の高い情報発信に努める。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	観光協会の観光案内機能・情報発信機能を充実させるとともに、ガイドボランティアの育成に努め、利便性を高めた。観光協会ホームページのアクセス数は昨年度に比べ微減だったが、国際・食彩・文化祭~ご当地グルメでまちおこしin名張~の開催により、秋のアクセス数は増加した。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	観光部門の事業者との連携は比較的取れているが、地域づくり組織との連携については今後の課題である。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
--	--------

具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由
名張市観光戦略に基づき、一貫性のある方針のもと、委託内容の精査や効果的な情報発信に努める。

6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
名張市産業振興ビジョン